【白キ霧ノ中デ悪夢ハ笑ウ】

事件の真相

ジェシカは、双子の妹であるキャシーから、【ジャックは母を殺してホテルを奪った犯人、ホテルを取り返す為に協力して欲しい】と言われている。
そのため当初からジャックを憎んでおり、彼を殺害するつもりでやってきた。

秘密の部屋にある【土地の権利書】も狙いであったが、そこを開けるためには暗号が必要である。そこで彼女は、数学に強いモルフィスを誘ったのだが、彼はジェシカを無理やりにでも自分のものにする事が目的であった。

ディナーで出されたジェシカのワインに、彼は麻薬を入れて彼女を落とすつもりであった。
その結果、ジェシカはジャックを殺害しに行く途中で"ハイ"な状態となり、実際は殺人を実行できていないにも関わらず、彼を殺したと思い込んでしまった。
（彼女のキャラクターシートで、ジャックを殺害したというのは彼女の妄想である。）

ディナーを早めに切り上げたジェシカは、双子のキャシーに変装しジャックに近づき、ナイフで彼を襲ったが逆に凶器を奪われてしまう。
ジャックは彼女の様子がおかしいので、落ち着かせるため取りあえず一目のつかない場所に連れて行こうとする。しかしこの光景を見たロンが、ジャックがキャシーを襲っていると勘違いしてしまう。

とっさに冷凍庫から取り出した生肉をジャックに投げつけると、頭に命中して彼は気絶した。

ロンもキャシーの様子がおかしい事に気づき、彼女の部屋に連れて行く。

キャシーは以前から【ジャックに性的暴力を受けている】と彼に相談していた。（実は彼を味方につけるためのキャシーの嘘だったのだけど）そのためジャックに激しい怒りを覚える。

現場にもどると、ジャックは小ホールで意識を取り戻していた。ロンは厨房から包丁を持ち出し、彼を殺害。これが22:30の出来事である。

ロンは背中から刺したが、ジャックは仰向けに倒れたため、凶器の包丁は彼の裏側に刺さったままとなった。（のちにキャシーが彼の死体を見た時に包丁に気付かなかった）

キャシーの部屋に連れられたジェシカだったが、意識朦朧の中、変装するための衣装を部屋に置いたまま、自室にもどる。（この時、部屋に帰ってきた音をエリスに聞かれてしまう）

一方…大広間でホールの仕事をしていたキャシーは、自室にもどってきた時、青白い顔をしたロンに出会う。彼は何か言いたそうだったがそのまま去ってしまった。

不審に思った彼女は自室で、"自分のものではない、従業員のドレス"を見つける。
また深夜の見回りでジャックの遺体を発見し、これがロンの仕業と感じ取る。

ジャックの近くにナイフが落ちていたので（これが凶器だと思い）とっさに持ち帰って自室の机に隠してしまった。

22:45の時点で、モルフィスがジェシカの部屋を訪れる。この時ジェシカに使用したウィッグを付けたままであった。そのため、モルフィスは別人と勘違いし、驚きの声をあげてしまう。
（その声を不振に思ったエリスが、ドアを開けて彼を目撃している。）

■犯行時間の真相

今の室温は20℃ってとこだから、これは死後7時間30分だな。
だが気を付けなければならないのは温度じゃ。
気温が5℃下がる時間が5時間続ければ腐敗の進行は30分遅くなる。
はて、昨晩の室温はいくつだったろうな。」

空調が20℃に設定されていたので、そのままであれば22時30分が犯行時刻になる。

※小ホールに落ちていた生肉から、氷点下(0度)までさがったという推理がうまれるかもしれない。
※ホテル内の共用空調は、普段は0時～5時まで落としているという情報がある。

仮に0時～5時の室温が0℃だと、死後9時間半の状態となり、犯行は昨晩の20時30分となる。

※新聞を読むと昨晩の気温は10℃と書かれているが、地理の教科書には、深い霧が掛かった場合は周囲の温度がそれより下がるとあるので、それを信じるなら0℃まで下がった可能性も出てくるであろう…が、これらの情報はフェイクである。

真相としては、いつもはジャックがエアコンを手動で落としているが、昨晩はジャックが死んでしまっている
その後、キャシーもエリスもエアコンには触っていないので、昨晩はエアコンがつきっぱなしであった。
つまり昨晩はずっと20℃の状態であった。
※支配人室のエアコンスイッチには【0時に消灯すること】と書かれている。

■23:20停電の真相

エリスが支配人室に侵入した際に、共用部の照明スイッチを間違えて押してしまったため。
(この情報が判明すると、エアコンのスイッチも触ったのか?という疑惑が出るが、指紋採取すれば、触っていないことが分かる。)

■開かずの部屋の四桁の暗証番号

ジャックの手帳には、8C 4D ■I 8V と書かれている。
※■の部分は汚れていて見えない。

モルフィスの持っている数学の参考書には、 I…1 V…5 L…50 C…100 D…500
と書かれているものがある。

つまり、8Cは8×C(100)=800 4Dは4×D(500)=2000 3Iは■×I(1)=■ 8Vは8×V(5)=40
800 2000 ■ 40 となり、それらをプラスすると、284■ になる。

では、■に入る文字は?
前室にある電子錠の情報を見ると、2と3の文字が擦れている とある。
つまり、この二つの文字はよく押されているという事になり、"2"は既に正解が出ているため、
隠れている文字は"3"だと分かる。

よって答えは 2843 である。

■死体のそばにある生肉の真相

ジャックの死体のそばに生肉が落ちている。 さっきまで凍っていた…と表現されており、この部屋が氷点下までさがったかのように記載されているが、これはフェイク。

この生肉は、ジャックがキャシーを襲っていると勘違いしたロンが、夜食用に取り出した冷凍生肉をジャックに投げつけて気絶させたもの。
冷凍庫から取り出したので、その時から凍っていた。

なお食糧保管庫に廃棄リストがあり、前日には生肉の廃棄が無い。
つまりゴミ置き場から持ち出したものではないことが分かる。

■犯人特定のロジック （ロンが犯人）

① 犯行は22:30という事が分かれば、この時間に小ホールに出入れできる人物で、かつアリバイの無い人物という事になる。

・モルフィス⇒22:40まで、大広間で飲んでいるのでアリバイがある。
・ジェシカ⇒エリスの証言で、22:20に部屋に帰っている。
以降 22:45にモルフィス・エリスが2号室の扉を開けるまで部屋から出ていない。
・ハリー⇒22:25まで大広間にいる。その後小ホールに行きつくためには、ドアをピッキングしなくてはならないが、その作業には最低10分掛かるので、22:30に殺害することは不可能。
※殺人時刻はキッカシじゃないから5分くらい遅れたって分からないだって?
~~そんな素直じゃない子は嫌いだ。~~
なお22:45には、モルフィスとエリスのやり取りの音を聞いているので、その証言を信用させる事が出来れば、この時間はハリーが自室に居た事を証明できる。
・キャシー⇒22:40まで大広間でホールの仕事をしていたのでアリバイがある。
・エリス⇒20:50以降は小ホールに入ることが出来ない。
・ロン⇒この時間にはアリバイも無く、かつ小ホールに自由に出入りできる。

② 仮にロン以外の誰かが小ホールで殺害したとなると、厨房にいたロンが気づかないというのには無理がある。 ジャックの目撃情報についてかなり誤魔化さなくてはならなくなるだろう。
（少なくとも昨晩のディナーをゴミ置き場に廃棄してるのだから、必ず小ホールを通るはずだ。）

③ ジャックの死体には、背中側から包丁に刺されていてこれが致命傷になっている。
この傷は背骨まで達しており、かなり強い力で刺したことが分かる。

麻薬の症状には、筋力の低下させるものとあるので、ジェシカには犯行は難しい。

④ 現場に落ちている、包丁・ボタンからはロンの指紋が採取できる。
（ちなみにボタンは、厨房にある【洗濯機の中にはいっているコックコート】から取れた物）

これらは一応証拠とはなるのだが、このあたりはロンの職場であるので、こういったものが落ちていても不思議はないと開き直られると弱いだろう。